

# 『さっきやま魂』

R4. 2. 28 第21号

発行人：校長 中山 末永

## 3月15日に向けて！

22日(火) 2回目の持久走記録会を実施しました。1回目(1月実施)の自分の記録への挑戦になります。

冷たい風が吹き、厳しい寒さの中での記録会となりましたが、今回も、子ども達の最後まで諦めない走りを見ることができ、とても嬉しく思いました。

「1秒速くなった！」と喜んでいる子ども

「3秒遅くなった・・・」と悔しそうにしている子ども

それぞれが自分の目標を意識しながら毎朝の走ろう運動に取り組んでいたことが分かりました。もちろん、頑張っても必ず良い結果が出るとは限りませんが、「目標に届かなかった悔しさ」を味わうことも大切なことだと思います。

2月の記録会は終わりましたが、大切なのはこれからです。自分の結果と向き合い、次の記録会までにどのように取り組んでいくのか。できれば、結果にこだわりながら、毎日の努力を継続してほしいと思います。それが持久走記録会のねらいです。

ちなみに、今回「新記録証」を手にしたのは、走った子どもの60%でした。けが等のため、参加できない子どももいましたが、素晴らしい結果だったと思います。3回目の記録会でも、自分の記録への挑戦、「自己ベスト」を目標に頑張してほしいと思います。



## ゴール後も全力で友達の応援



## 意識した動き・・・

2月になっても市内でのコロナ感染が続き、夕方には、ドキドキしながら「感染者の発表」を確認する毎日が続いています。

2学期までは、毎朝、通学路を歩いていましたが、3学期からは「市内で感染者が確認された翌日は玄関で子どもを迎える」ことにしました。理由は、登校時の感染対策を徹底させるためです。私が確認することは、「正しいマスク着用」と「玄関での手指消毒」です。毎朝、「消毒してね。」と声をかけているので、子ども達にとっては、消毒は当たり前になってきたようです。

そんな玄関での子ども達の様子を見ながら、以前とは違った行動をよく見かけるようになりました。それは、「靴の置き方」です。下駄箱に靴を入れた後に手のひらを当ててかかとの部分をそろえる子どもがいます。また、両手で靴を置く子どももいます。中には、一度置いた靴をもう一度持ち上げ、きれいにそろえて置き直す子どももいます。6年生や児童会が中心になって取り組んできたことで、全校児童が意識し、『そろえることが当たり前』になってきました。



学校では習慣化してきた靴並べですが、ご家庭ではどうでしょうか？ 学校とは違った様子が見られるのなら、それはまだまだ本物とはいえません。これからも、「靴並べ」が崎小の自慢の一つになるように頑張っていきますので、ご家庭でも声をかけていただき、本物を目指していきましょう。